

がん看護専門看護師

井沢 知子 大内 紗也子 角 裕子
前滝 栄子 黒田 貴子
和田 千穂子 松山 直美 宮園めぐみ

がん看護専門看護師 (OCNS) Oncology Certified Nurse Specialist



- 看護師経験5年以上（専門分野3年以上）、看護系大学院を修了し、専門看護師認定試験に合格した者
- 複雑で解決困難な看護問題を持つ個人・家族・集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するための特定の専門看護分野の知識・技術を深めた者
- がん患者の身体的・精神的な苦痛を理解し、患者やその家族に対してQOL（生活の質）の視点に立った水準の高い看護を提供する
- 「実践」「相談」「調整」「倫理調整」「教育」「研究」といった6つの役割を担う

2022年12月現在
がん看護専門看護師:1054名
(京都府内には29名在籍)

1996年
日本看護協会が専門
看護師の養成を開始

2006年
・がん対策基本法施行
・がんプロフェッショナル養成事業



▲がん看護専門看護師の変遷

京大病院には現在8名のがん看護専門看護師が働いています！

中8婦人科病棟・外来における実践活動

循環器内科との混合病棟ですが、**主に婦人科がん患者さん・ご家族のQOL向上に寄与するために**病棟と外来連携の強化を目指しています！



①治療中～安定期にかかわらず長期的なフォローアップ体制の構築

- ・入院での手術や抗がん剤治療が一段落して、外来のフォローアップに移行する際に「生活における質問票」をお渡ししています
- ・退院後初めての外来受診時に、看護師が「質問票」をもとに身体面・心理面・生活に関する気がかりについてお伺いします
- ・必要時、2回目以降の外来においても、**多職種**（主治医・外来看護師・地域ネット・がん看護専門看護師…）で連携し、**患者さんの個性のある気がかりをサポートする体制を整えています**



入院中の患者さんを知る
病棟看護師が1人
毎日外来に降りています

②ACP（アドバンス・ケア・プランニング）につながる意思決定支援の強化

- ・入院中患者さんの今後の治療や療養に関する価値観や希望を共有するために「ACP票」をお渡ししています
- ・仕事、育児、家事、趣味といった患者さんの大切にしていることを伺いながら、どのように治療療養していきたいかを一緒に相談していきます

外来における治療方針説明時の同席（実践活動）

- ・主に婦人科がん患者さん、乳腺外科のがん患者さんの治療方針の選択及び意思決定を支援しています。
- ・患者さんの身体的側面だけではなく精神面、社会面サポートが必要な状況を関係者で共有し、サポートの方向性を調整しています。
- ・病棟カンファレンス、外来カンファレンスに参加し、スタッフと患者さんの情報の共有を図っています。

サポートの実際

- ・バッドニュース
- ・不安がとても強い
- ・状況が受け入れられず混乱している

- ・混乱する患者の精神状況をアセスメント
- ・患者の思いの傾聴、患者が気になっている点を医師に質問する
- ・医師の説明の理解をサポート
- ・必要時継続してサポートを実施する

外来での関わり、病棟で患者を
見る視点など視点が違うから
こそ協働って大切!!



外来看護師

外来看護師または主治医から連絡を受けて治療説明に同席する



がん看護専門看護師



外来-病棟共有カンファレンス

がんゲノム特別外来における実践活動

担当医よりゲノム検査について説明が行われた後患者には外来を3回受診してもらう

1回目：看護師が事前説明を行い医師の診察に同席

2回目：検査の申し込みと同席

3回目：結果の説明に同席

保険診療で行われるがん遺伝子パネル検査の対象患者

- ①標準治療がない固形がん患者（希少がんなど）
- ②局所進行もしくは転移があり、標準治療の終了が見込まれるあるいは標準治療が終了した固形がん患者

→治療につながる結果に対して強い期待をもって検査を受ける患者が多い

右のような役割が重要になる

【看護師の役割】

事前説明

ゲノム検査の目的や二次的所見が見つかる可能性など、患者が正しく理解して検査を受けることができるよう説明し、理解度について確認する

意思決定支援

- * 治療につながる結果が見つからなかった場合
- * 二次的所見が見つかった場合

外来看護師、多職種との連携

外来看護師やがんゲノムコーディネーターや遺伝カウンセラーなどと患者の言動や理解度、精神面などの情報を共有し患者のケアにあたる



※患者さん役はスタッフです

腫瘍内科・放射線治療科病棟、 外来化学療法室における実践活動

腫瘍内科 放射線治療科病棟



- ・外来で化学療法を始める前に、患者さんにはオリエンテーションを受けていただいています。
- ・通院しながら外来での化学療法を続けていけるように医師、薬剤師、栄養士、社会福祉士等と一緒に患者さんそれぞれに応じたサポート体制を検討しています。
- ・必要な時には病棟スタッフとも情報を共有し連携を図っています。

- ・固形がん、希少がん、原発不明がん等に対する化学療法や放射線治療を入院して受ける患者さんのケアを行っています。
- ・治療による副作用や疾患による症状等が複雑化、困難化している場合の相談を受けています。
- ・治療方針やケアについて多職種で（医師、薬剤師、栄養士、臨床心理士、作業・理学療法士）検討できるように調整しています。

副作用が不安

仕事心配

家事はできる？

外来化学療法室



※患者さん役はスタッフです

実践とダブルアポイントメント教員の活動

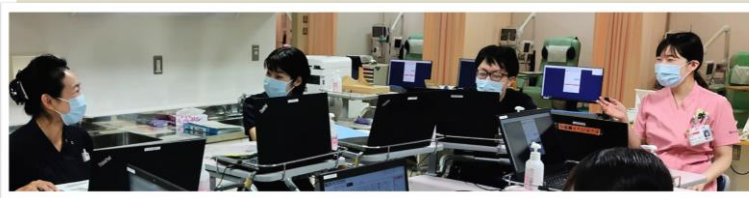
病院6割、大学4割の比率で活動をしています

【病院での活動】

- 外来化学療法室で週3日勤務しています。
- 外来で化学療法を始める前の患者さんにオリエンテーションを行い、安全で少しでも安楽に治療を続けていけるように医師、薬剤師、栄養士、社会福祉士等と一緒に患者さんそれぞれに応じたサポートを検討しています。
- 患者さんの副作用マネジメントや日常生活での困り事について、スタッフと共にケアや対策を考えています。

【ダブルアポイントメント教員活動】

- 大学で週2日勤務しています。
- 先端看護科学コース緩和ケア看護学分野での教育活動を行っています。
- 教室の教員と共にがん患者さんのQOL向上を目的とした研究の検討や取り組みを行っています。



看護部管理室 実践支援室 2

角 裕子



院内看護師対象に

最新のトピックスに関する勉強会の企画・運営にも携わっています

2023年度学会発表

がん看護認定・専門看護師主催
遺伝性腫瘍に関する勉強会のご案内
 期星：角 (PHS 5664)

テーマ：「**遺伝性のがん(基本編)**と遺伝子診療部のご紹介」

これからの看護に遺伝の知識は必須です！先生がわかりやすくレクチャーさせていただきます。皆様のご参加をお待ちしております！

講師：京都大学医学部附属病院 遺伝子診療部 中島 健先生

日時：9月14日(木) 17:30～18:00
 場所：A会議室

リスク低減手術、遺伝子について

中島先生よりご紹介いただいた資料です。是非ご活用ください。

第2弾！
 がん看護認定・専門看護師主催
 期星：角 (PHS 5664)

「**遺伝性腫瘍に関する勉強会**」

テーマ **遺伝性消化管腫瘍について：看護師さんに知って欲しいこと**

講師：臨床腫瘍学講座 特定准教授 山田 敦先生

日時：11月9日(木) 17:30-18:00
 場所：A会議室

これからの看護に遺伝の知識は必須です！！是非ご参加ください。

第22回日本遺伝看護学会学術大会

がんゲノム医療に関わる看護師の遺伝医療職との協働について

京都大学医学部附属病院
 がん看護専門看護師 角 裕子

第36回日本サイコoncロジー学会総会ランチョンセミナー2

がんゲノム医療における看護

京都大学医学部附属病院
 がん看護専門看護師 角 裕子

第28回日本緩和医療学会学術大会ランチョンセミナー

がん遺伝子パネル検査実施前後の患者への看護介入について

京都大学医学部附属病院
 がん看護専門看護師 角 裕子

大病院外来看護におけるアドバンス・ケア・プランニング

京都大学医学部附属病院
 がん看護専門看護師 角 裕子

KU:P

医療者公開講座
 「事例から考えよう
 がん看護臨床と遺伝」
 -コンパニオン診断とがんゲノムを例に-

他職種で考えるがんゲノム医療

セッションテーマ：
 腫瘍学と在宅緩和ケアの統合

ドドン♪
 第3弾！
 がん看護認定・専門看護師主催
 期星：角 (PHS 5664)

「**遺伝性腫瘍に関する勉強会**」

テーマ **保険適応後4年が経過したがんゲノム医療の現状**

講師 臨床薬物治療学講座・腫瘍内科 准教授 金井 雅史 先生

日時：11月13日(月) 17:30-18:00
 場所：A会議室

これからの看護に遺伝の知識は必須です！！是非ご参加ください。



がん看護専門看護師による教育活動

院内での活動

(看護部認定・専門看護師会議がん看護グループ活動)

- がん看護レベルアップ研修
 - ・ 知識・グループワーク・施設見学
 - ・ 2023年度は13名参加
- NURSEコミュニケーション講座の開催
 - ・ 5回/年開催「治療選択に悩むとき」「家族の悲嘆への対応」などベッドサイドでのコミュニケーションに悩む場面に焦点を当てる
 - ・ 部署の希望の沿って部署での開催も実施
 - ・ 2023年度は延べ100名以上参加



▲実際の見学の様子



▲NURSEコミュニケーション講座振り返りの様子

院外での活動

(京都府がん医療戦略会議緩和ケア部会主催ELNEC-J コアカリキュラム)

- オンラインでのELNEC-Jコアカリキュラムの開催 (京都府内に勤務する看護師54名が修了)
- 京都府下のがん看護専門看護師、認定看護師などの協力を得て企画・運営を行う

【ロールプレイ・前半グループ】 今に残っているキーワードを1つ教えてください。

患者の様子を伝える 関心を示している様子
患者や家族の不安は揺らぎが多くすぐには言い表せない
向き合う時の態度 関心を持ち続ける事 信頼関係作り
患者さん主体 ケアリング 寄り添い
よりそう 沈黙の意味 良い問の取り方 沈黙のスキル
沈黙 共感 寄り添う
非言語的コミュニケーションの重要性 家族にも寄り添い
気持ちの整理 関心を持つこと 寄り添ってくれる
看護師の思いを押し付けない 寄り添ってくれる
目標を応援してもらえて症状を話すことが出来た
患者さんが持っていない情報を提供する

Q&A word cloud

低活動性のがん系にも低活動性と向き薬剤治療でしょうか？
終末期のことを知って看護に活かしたい
身寄りがない患者様への取組みで、大切なことはありますか？
深い傾聴の対象となる言葉はどれくらいですか？
家族看護について

オンラインでも双方向性の講義となるようにSlidoという投票機能があるアプリケーションを利用など工夫！

がん看護専門看護師は、 こんな看護を大切にします

- 患者さんが生活の中で大切にしていることを踏まえた上で、納得のいく治療の選択が出来るように支援します
- 治療中の療養生活に不具合が生じないようにチーム医療を推進します
- 院内にいるがん看護分野の認定看護師や他分野の専門看護師と協働し、看護のボトムアップが図れるようなシステムを構築していきます
- 臨床研究を推進して、エビデンスを創りだしていきます

